

大腸がんの予防とアスピリンについて

- アスピリン（1日75mg）を数年間服用することにより、大腸がんの発生率と死亡率を減らせることがLancet誌に報告されました。



- **アスピリン**（1日75mg）は、20年間の**大腸がん発生**の危険率を0.76倍に、**大腸がん死亡**の危険率を0.65倍に低下させました。

